

海外留学部門活動報告

国際教育交流センター海外留学部門

岩城 奈巳・星野 晶成・宮崎 千穂・河嶋 春菜・孝森 めぐみ

はじめに

海外留学部門における平成28年度の活動を「情報提供」、「学生指導」、「語学強化の取り組み」、「海外の協定校に関する情報収集」、「新たな取り組みと活動」に分けて紹介し、最後に来年度に向けての課題を提示する。

1. 情報提供

海外留学部門における情報提供活動は、各種留学説明会（留学プログラム別、学部・研究科別、学位留学、保護者対象、奨学金など）、Webサイト、メール配信、フェイスブック、パンフレットスタンド、学内掲示、帰国報告書や留学関連の図書貸出などを通して行っている。メール配信登録者は887名、フェイスブック（アカウント名：名大海外留学室）登録者は798名である（2017年3月現在）。平成28年度に開催した各種情報提供は表1の通りであり、実施したイベントに計4424名の学生が参加した。

2. 学生への指導

1) 個別相談

今年度の個別相談は1064件であった。基本的に個別相談は予約制であるが、お昼休み、授業後などの飛び込み相談も多く、件数に入っていない対応も多く行っている。また、電話でも簡単な相談は対応している。

2) 派遣学生に対する指導

〈全学間協定に基づく交換留学〉

・平成28年度派遣について

全学間協定に基づく交換留学によって今年度派遣される予定の学生に対し、出願から出発までの支援と指導を行った。派遣学生の一覧は表4の通りである。今回

初めて派遣するのは、新規協定校の南洋理工大学、オタワ大学である。

・平成27年度〈秋派遣〉

来年度派遣分の交換留学生（全学間協定に基づくもの）については、8月の説明会より応募開始とした。今回募集した受入れ協定校は資料1の通りであり、30件の応募があった。そのうち、書類選考合格者は28名であった。交換留学実施委員会で構成される選考部会において個別面接を行い、その結果、26名の交換留学候補者を選出した。その後、1名が辞退したため、25名の学生が候補者となった。さらに枠が空いている協定校について二次募集を行ったところ、12名の応募があり、書類審査で11名が合格、面接にて11名が追加合格となり（条件付き合格1名含む）計36名の学生が秋派遣候補生となった。交換留学候補の所属部局、学年（応募時）は表4（右半分）の通りである。また、候補者決定通知の後、留学準備期間の過ごし方についてのオリエンテーションを行い、早い段階から留学生としての自覚を促し自立心をもって準備に取り組むよう、説明した。このオリエンテーションでは留学先は異なっても、留学同期生と出会い、ネットワークを構築させ、情報交換を促進させることを同時に目指している。

・平成28年度〈春派遣〉

募集した受け入れ協定校は資料2の通りであり、7件の応募があった。全員の面接を行い、7名とも合格した（条件付き合格3名）。選考方法、決定後のオリエンテーション実施は秋派遣と同様である（秋派遣参照）。

・〈全学教養科目の展開〉

平成26年度のスーパースーパーグローバル事業申請・採択に伴い、NU-OTI (Nagoya University Overseas Take-off Initiative) という標語を掲げ、平成27年度より教養教育院にて海外研修を含む全学教養科目を開講した。

全学教養科目特別講義授業名	海外拠点名	研修先国
アメリカの大学生活とビジネス・海外研修	Nagoya University Technology Partnership	米国（協定校：ノースカロライナ州立大学）
ウズベキスタンシルクロードの文化環境学習・海外研修	ウズベキスタン事務所	ウズベキスタン（協定校：タシケント国立法科大学、世界経済外交大学、サマルカンド国立大学）
インドネシア現代事情とグローバル学習・海外研修	—	インドネシア（ガジャマダ大学）
豪国の多文化環境とグローバル学習・海外研修	—	豪国（モナシュ大学）
東アジアにおける文化・海外研修	—	大韓民国（協定校：木浦大学校、延世大学校）
欧州における文化・海外研修	ヨーロッパセンター	ドイツ・スイス（協定校：フライブルグ大学）

平成28年度は、合わせて5つの科目を開講し、それぞれ名古屋での学習と海外での学習をあわせた教養学習として構成した。米国とウズベキスタン、インドネシア、オーストラリアでの研修を含む科目については前期から夏休みにわたり、韓国と欧州（ドイツ・スイス）で研修を実施する科目については後期から春休みにわたり、授業および研修を実施した。韓国と欧州の授業科目は、今年度初めて開講し、学生が研修先にて外国語で日本文化を発表することを大きな目標として、渡航前の授業では教員がプレゼンテーションの方法と各自のテーマに沿った発表の準備を指導した。結果として、韓国と欧州、いずれにおいても、聴衆の方々より高い評価を得た。今年度は、海外研修を含む全学教養科目で、あわせて96名の学生を派遣した。帰国後の授業では、全ての授業科目において口頭報告を実施し、授業全体を振り返った。また、平成28年度開講科目におけるフィールドワークの成果である『平成28年度海外調査論集—海外へ広がる教養科目—（タイ・スコットランド・インドネシア・ウズベキスタン・アメリカ）』を刊行した。平成29年度の授業科目の更なる充実と展開を目指し、モンゴルおよびウズベキスタンにおける視察を行い、本学事務所の教職員との協力体制を築いている。

・〈短期特別研修〉

渡航前学習と語学研修をあわせた海外研修プログラムである。平成28年度は、春期にエジンバラ大学での研修を実施した。平成29年度夏期にはさらに、カルガリー大学での研修を予定している。

・〈協定校主催の短期研修〉

平成28年度は、夏・春合わせて、8プログラムに19名の学生が参加した（詳細は表5を参照）。

〈安全危機管理〉

平成29年度は、全学生向けの危機管理オリエンテーションを、合計8回（前期：2016年6月13日、29日、7月11日、27日、後期：12月7日、21日、2017年1月16日、23日）実施した。具体的には、渡航前の準備、渡航中の安全対策、海外旅行保険加入、そして、緊急時の連絡体制について、案内と指導を行った。今年度は、特に海外におけるテロについての情報を取り入れ、テロへの安全と予防対策の情報を学生に提供した。また、学内生協の旅行カウンターとも協働して、個人で渡航する学生に対してもオリエンテーションへの参加を促した。結果、全8回の合計出席者数は150名を超えた。なお、NU-OTI 海外研修を含む全学教養科目に参加する学生に対しては、現地研修前の授業の一部として各担当教員がその国に特化した内容を含めて、危機管理オリエンテーションを実施した。また、年度末より、元警察官の周山義仁氏を海外リスク管理担当参事として迎え、安全危機管理オリエンテーションへの助言、及び学内の安全危機管理体制の構築をお願いすることとなった。

〈名古屋大学長期留学支援プログラム（大学院留学型）〉

今年度は、3名の学生より応募があった。3名とも書類審査合格したが、1名は別の奨学金に合格したため面接を辞退、面接審査を受けた1名は合格したが、こちらも別の奨学金に合格したため、辞退した。

3. 語学強化の取り組み

〈特別英語セミナー〉

前期に特別英語セミナーを開講した。この講義は、TOEFL-iBT の特にライティングに特化して開講するもので、全学の留学希望者に向けて開講している。

〈留学準備 IELTS 講座・夏〉

昨年度から引き続き、大学改革経費からの支出、愛知教育大学・三重大学・名古屋大学の三大学連携事業として、IELTS 準備と留学準備をともに行う集中講座を、8月8日から8月24日実施した。受講者は計21名で、全学間または部局間交換留学に出願したい学生が参加し、岐阜大学から1名、三重大学からは3名の学生が受講した。全受講学生のうち、来年度派遣の交換留学の学内選考に10名が出願し、8名が派遣内定となった。

〈留学準備 TOEFL iBT 講座・春〉

昨年度から引き続き、大学改革経費からの支出、愛知教育大学・三重大学・名古屋大学の三大学連携事業として、TOEFL iBT 準備と留学準備をともに行う集中講座を、3月6日から3月16日行った。受講者は計19名で、全学間、または部局間交換留学に出願したい学生が参加し、三重大学から1名の学生が受講した。

〈留学対策英語週末講座〉

昨年度から引き続き、将来、海外留学を希望している学生を対象に、春・秋学期の開講期間中に大学改革経費からの支出、愛知教育大学・三重大学・名古屋大学の三大学連携事業として、講座を開講した。前期は入門クラスを5/28から7/16の毎週土曜日実施し、TOEFL-iBT の応用クラスを7/16及び8/6に実施した。後期は10/29から12/17の毎週土曜日に開催し、1 day speaking クラスを11/16に開催した。また、2/16には IELTS 公式サンプリングテストを実施した。

4. 海外の協定校に関する情報収集

海外留学に関する情報収集活動は以下の通りである。

- ・ 4/15 ノースカロライナ州立大学事務所関係者来訪
- ・ 4/27 ポルト大学関係者来訪
- ・ 5/17 KU ルーベン大学関係者来訪
- ・ 5/20 ヨーク大学関係者来訪
- ・ 5/29-6/4 NAFSA 年次総会@デンバー
- ・ 5/26 オーフス大学関係者来訪
- ・ 7/7 アイオワ州立大学関係者来訪
- ・ 7/12 ノースカロライナ州立大学関係者来訪

- ・ 9/13-16 EAIE 年次総会@リバープール
- ・ 9/28 シンガポール国立大学、ナンヤン工科大学、シンガポール工科デザイン大学来訪
- ・ 10/7 ノースカロライナ州立大学事務所関係者来訪
- ・ 10/12 カルガリー大学関係者来訪
- ・ 10/20 シドニー領事館関係者来訪
- ・ 10/7 アーヘン工科大学関係者来訪
- ・ 11/2 KU ルーベン大学調印式
- ・ 11/9 アデレード大学関係者来訪
- ・ 11/26 南イリノイ大学関係者来訪
- ・ 12/1 アデレード大学関係者来訪
- ・ 12/13 ノースカロライナ大学チャペルヒル関係者来訪
- ・ 2/15 ノースカロライナ州立大学関係者来訪
- ・ 3/19-24 APAIE 年次総会@高雄
- ・ 3/27 セントアンドリュース大学関係者来訪

〈NAFSA 及び APAIE ブース出展〉

昨年度から引き続き、国際プログラム部門（旧留学生受入部門：NUPACE）と協働し、名古屋大学としてブースを出展した。現協定校担当者との交換留学プログラムについての調整・議論（特に交流人数が偏っている大学とこれまで交換実績が少ない大学を中心に）や、新規協定校候補とのプログラム内容や協定書に関する議論・交渉、セッション等へ参加し、国際教育交流の情報収集を行った。NAFSA では、新規協定校として、オタワ大学（部局間から大学間協定へ）や南洋理工大学等と協議した。APAIE では、新規協定候補校として、City University of Hong Kong、ベルリン自由大学、マレーシア工科大学などと協議した。

5. 新たな取り組みと活動

〈新規協定校開拓〉

全学協定校拡大のため、NUPACE オフィスと協議の上、NAFSA、EAIE、APAIE に出席し、協定校の新規開拓を行った。その結果、2016年度中に以下の大学と協定締結に至った。

国名	大学名	種別	授業料 不徴収	締結年月日
シンガポール	南洋理工大	全学間	有	2017/1/20
ベルギー	ルーヴァン・カトリック大	全学間	有	2016/10/12
カナダ	オタワ大	全学間	有	2016/8/23
カナダ	カルガリー大	全学間	有	2016/6/9

〈留学写真展「写真で綴る留学ストーリー」〉

昨年度に引き続き「写真で綴る留学ストーリー」と題して、留学の様子がわかる写真を学生から募りパネルを制作、中央図書館ビブリアサロンにて2回の写真展を開催した（開催期間：5/9-5/23, 7/27-8/10）。5月は主に新生に向けて、7-8月は試験対策で図書館に通う在校生とオープンキャンパス（8/8-10）に参加する高校生に向けて開催し、計108名の参加があった。ただし、参加者の集計は記入式の受付簿と自由参加による写真へのコメント数などで算出したため、実際数とは異なる。

〈日本語カフェ「目から鱗の世界の文化」〉

中央図書館と国際教育交流センター教育交流部門・海外留学部門の連携事業として、前期に計8回開催した。日本語を聞くこと、話すことを楽しみたい留学生、留学生と交流したい名大生や教職員を対象に、地域の方々による折り紙教室、留学生からみた日本社会、日本人学生による海外経験談などを参加者と共有した。留学経験のある学生が自身の留学を客観的に振り返る機会作りとして、留学や海外に興味のある学生が留学生と交流できる場作りとなった。

〈私の就職活動〉

キャリア支援部門との連携で計4回、15名の学生が参加した。お昼休みの30分間を使い、就職活動を終えた学生が参加者の質疑に応える座談会方式とした。留学後の就職活動への不安を払拭することが目的で、来年度も引き続き開催予定である。

おわりに：今年度の総括と来年度への課題

今年度も精力的に留学に関する説明会、オリエンテーションを実施し、多くの学生が参加した。メーリングリストに登録している学生、フェイスブックに登録している学生を合わせると1000名以上の学生が海外留学室からの情報を受け取っていることになり、情報発信は十分できたと感じる。交換留学生数は昨年度と比較して期待したほど伸びなかったが、協定校での短期研修、海外研修を含む全学教養科目履習者は増加しているため、今後これらのプログラムに参加した学生を長期留学に導くことが課題である。来年度も新規に全学教養科目を立ち上げる予定を進めており、さらに多様な学生層を研修に呼び込むよう努力していきたい。

表1 平成28年度 セミナー・説明会・オリエンテーション等開催記録

内容	日時	計
新入生ガイダンス	4 / 6	2200
留学説明会（入門セミナー）	計33回（4 / 11 - 1 / 24）	211
留学説明会（短期夏）	4 / 14, 21, 28, 5 / 10	155
留学説明会（交換春派遣2016年度）	4 / 20, 27, 5 / 10	15
留学説明会（部局別）経済学部	4 / 20	29
オリエンテーション（交換秋派遣）	4 / 20, 7 / 6	6
留学説明会（部局別）農学部	4 / 21	80
留学説明会（部局別）工学部	4 / 26	60
留学説明会（CIEE主催）海外ボランティア	4 / 26	15
留学準備講座説明会（IELTS）	4 / 27, 5 / 11	19
留学説明会（部局別）法学部	4 / 27	13
留学説明会（部局別）文学部	4 / 27	8
留学説明会（部局別）教育学部	4 / 27	3
留学写真展	5 / 9, 7 / 27	108
留学説明会（部局別）理学部	5 / 11	19
留学説明会（部局別）保健学科	5 / 12	10
留学説明会（保護者対象）	5 / 15	189
留学説明会（部局別）国際言語文化研究科	5 / 25	4
危機管理オリエンテーション（前期）	6 / 13, 29, 7 / 11, 27	35
留学説明会（交換秋派遣）1次募集	7 / 6, 7 / 13, 8 / 8	48
オリエンテーション（交換春派遣）	7 / 13	7
留学説明会（米国大学院学生会主催）	7 / 21	16
留学準備講座（IELTS）	8 / 24	210
留学説明会（オープンキャンパス）	8 / 8, 9, 10	171
留学説明会（交換秋派遣）	8 / 24	15
留学説明会（国別）西オーストラリア大学	10 / 3	9
留学説明会（短期春）	10 / 5, 6, 13, 19, 27, 11 / 10	82
留学説明会（国別）欧州	10 / 17	3
私の就職活動	10 / 19, 11 / 30, 12 / 14, 1 / 25	15
オリエンテーション（交換春派遣）	10 / 26	7
留学説明会（国別）韓仏独留学説明会	11 / 2	4
留学説明会（国別）AhoY! 名大協定校を知ろう	11 / 2	48
留学説明会（CIEE主催）海外ボランティア	11 / 9, 12 / 2	18
講演会「科学の視点からシャーロックホームズを読む」	11 / 17	25
留学説明会（交換秋派遣）2次募集	12 / 7, 14, 1 / 12	8
危機管理オリエンテーション（後期）	12 / 7, 21, 1 / 16, 23	90
オリエンテーション（交換秋派遣）	12 / 14, 3 / 10	61
オリエンテーション（交換春派遣）	12 / 14	7
留学準備講座説明会（TOEFL-iBT）	12 / 21, 1 / 11	3
留学説明会（日米学生会議主催）	1 / 11	4
留学説明会（中谷RIESフェロシップ主催）	1 / 19	3
留学説明会（生協主催）	2 / 15, 3 / 14, 15	138
留学準備講座（TOEFL-iBT）	3 / 6 - 3 / 16	171
海外留学室同窓会	3 / 11	40
世界を舞台に働く！講演会	3 / 13	40
留学説明会（交換春派遣2017年度）	3 / 16	2

表2 平成28年度 海外留学入門セミナー月別出席者数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
参加者数	113	27	12	9	5	0	28	5	12	5	0	0	216

表3 平成28年度 海外留学個人相談月別利用件数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
計	130	147	79	66	62	71	158	91	59	62	73	66	1064

表4 全学間学術交流協定に基づく交換留学生の派遣予定数

*学部研究科・学年はすべて応募時の所属に基づきます

表4-a 平成28年度秋派遣 計 33名

地域	国	大学	学部・研究科	学年
アジア 4名	タイ	チュラロンコン大学	経済学部	U3
	中国	香港大学	文学研究科	M1
		復旦大学	経済学部	U1
		清華大学	情報文化学部	U2
ヨーロッパ 16名	イギリス	リーズ大学	医学部	U3
	イタリア	ボローニャ大学	医学部	U4
	スイス	ジュネーブ大学	文学部	U2
	スウェーデン	ウプサラ大学	教育学部	U2
		ウプサラ大学	工学部	U4
	デンマーク	コペンハーゲン大学	文学部	U3
				経済学部
	ドイツ	フライブルク大学	文学研究科	D1
				文学部
		アーヘン工科大学	工学部	U2
		ミュンヘン工科大学	工学部	U4
			経済学部	U2
		アーヘン工科大学	経済学部	U2
	ノルウェー	オスロ大学	教育学部	U2
フランス	リヨン第3大学	文学部	U2	
	ストラスブール大学	経済学部	U2	
北米 13名	アメリカ	アイオワ州立大学	工学部	U4
		イリノイ大学アーバナ・シャンペーン校	経済学部	U3
		ニューヨーク大学	情報文化学部	U2
			経済学部	U2
		南イリノイ大学カーボンデール校	国際言語文化研究科	D2
		シンシナティ大学	経済学部	U2
		ケンタッキー大学	工学部	U2
		ミネソタ大学	教育学部	U4
		イリノイ大学アーバナ・シャンペーン校	工学研究科	U3
		フロリダ大学	経済学部	U2
		南イリノイ大学カーボンデール校	情報文化学部	U2
		カナダ	モントリオール大学	医学部
	ヨーク大学		法学部	U3

表4-b 平成28年度春派遣 計7名

地域	国	大学	学部・研究科	学年
アジア 1名	韓国	梨花女子大学校	文学部	U2
オセアニア 6名	オーストラリア	アデレード大学	工学部	U3
		オーストラリア国立大学	農学部	U3
		モナシュ大学	文学部	U3
		西オーストラリア大学	情報文化学部	U3
			理学研究科	M1
		南オーストラリア大学	情報文化学部	U3
		梨花女子大学校	文学部	U2

表4-c 平成29年度秋派遣 計36名（渡航予定）

地域	国	大学	学部・研究科	学年
アジア 8名	シンガポール	南洋理工大學	経済学部	U3
	タイ	カセサート大学	農学部	U3
			農学部	U2
	中国	香港中文大学	情報文化学部	U2
			経済学部	U2
		復旦大学	法学部	U2
		北京大学	国際言語文化研究科	M1
			法学部	U3
ヨーロッパ 18名	イギリス	リーズ大学	法学部	U2
			法学部	U2
			医学部	U3
	イタリア	ボローニャ大学	経済学部	U3
	スイス	ジュネーブ大学	情報文化学部	U2
	スウェーデン	ウプサラ大学	法学部	U2
			情報文化学部	U2
		スウェーデン王立工科大学	工学部	U4
	デンマーク	コペンハーゲン大学	文学部	U2
			文学部	U2
	ドイツ	ミュンヘン工科大学	工学部	U4
	ノルウェー	オスロ大学	法学部	U2
			経済学部	U3
			文学部	U2
フランス	ストラスブール大学	国際開発研究科	M2	
	パリ・ディドロ大学（パリ第7大学）	経済学研究科	D2	
	リヨン第3大学	文学部	U2	
		文学部	U2	
北米 10名	アメリカ	アイオワ州立大学	農学部	U2
		シンシナティ大学	情報文化学部	U1
			工学部	U2
		ニューヨーク大学	法学部	U3
		フロリダ大学	情報文化学部	U2
			文学部	U2
		ミネソタ大学	教育学部	U2
			農学部	U3
		南イリノイ大学カーボンデル校	工学部	U4
	カナダ	オタワ大学	法学部	U2

表5 短期研修プログラム参加者数

	科目名・大学名など	国名	25年		26年		27年		28年		プログラム種別 (H28年度)
			人数	人数	単位 認定	人数	単位 認定	人数	単位 認定		
夏 期	アメリカの大学生活	米国	/	/	/	34	○	23	○	全学教養科目	
	シルクロード文化学習	ウズベキスタン	/	/	/	11	○	7	○	全学教養科目	
	ガジャマダ大学	インドネシア	7	8	—	5	—	2	○	全学教養科目	
	カルフォルニア大学デービス校	米国	5	9	○	/	/	/	/	H27から休止	
	モナシュ大学 (GPP)	豪州	/	/	/	4	—	19	—	協定校特別研修	
	モナシュ大学	豪州	12	14	—	/	/	/	/	H27から休止	
	フライブルク大学	独国	4	10	—	28	—	4	—	協定校プログラム	
	ロンドン大学アジアアフリカ学院	英国	—	—	—	—	—	1	—	協定校プログラム	
	上海交通大学	中国	—	—	—	—	—	2	—	協定校プログラム	
	同済大学	中国	25	10	—	12	—	10	—	言語文化Ⅲ	
	同済大学ワークショップ	中国	—	—	—	4	—	—	—	協定校プログラム	
	東北大学	中国	—	—	—	—	—	2	—	協定校プログラム	
	梨花女子大学校	韓国	4	6	—	4	—	3	—	協定校プログラム	
	国立中正大学	台湾	1	5	—	1	—	2	—	協定校プログラム	
	香港中文大学	中国	—	3	—	0	—	2	—	協定校プログラム	
延世大学校	韓国	1	0	—	0	—	—	—	協定校プログラム		
春 期	東アジアにおける文化	韓国	/	/	/	/	/	9	○	全学教養科目	
	欧州における文化	独国・スイス	/	/	/	/	/	16	○	全学教養科目	
	東南アジアにおけるビジネスキャリア	タイ	/	13	○	9	○	6	○	全学教養科目	
	エジンバラ大学	英国	/	/	/	11	○	11	—	協定校特別研修	
	国立台湾大学	台湾	—	1	—	0	—	—	—	協定校プログラム	
	フライブルク大学 (英語)	独国	—	4	—	4	—	3	—	協定校プログラム	
	モナシュ大学	豪州	34	27	○	28	○	14	○	言語文化Ⅲ	
	フライブルク大学 (独語)	独国	15	26	○	20	○	20	○	言語文化Ⅲ	
	ストラスブール大学	仏国	15	19	○	0	○	0	○	言語文化Ⅲ	
合計		123	155		175		156				